

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月12日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【J4エリア多核種除去設備の処理水移送配管の脱落について】 J4エリアの堰内に設置されている多核種除去設備の処理水移送配管が2箇所(東側、南側)の配管サポートより脱落していることを確認。 現在、原因調査中。 なお、以下のとおり、他の異常は確認されなかった。 ・前日のパトロールでは異常がなかったこと。 ・J4エリアの移送配管及び周りの配管に漏れはないこと。 ・J4エリアタンクでは移送作業はしていないこと。 ・J1～J9エリアの同様箇所について異常がないこと。</p>	GⅢ	7月5日
2	<p>【J6-5雨水回収タンクから展望台西側散水池への移送用ホースの破損について】 J6-5雨水回収タンクから展望台西側散水池への雨水移送時、C東エリアとJ1西エリア間で雨水移送ホースが破損し、雨水の漏えいを確認。 当該移送配管の移送弁を閉め、雨水の漏えい停止を確認。 破損したホースを交換。</p>	GⅢ	7月5日
3	<p>【多核種除去設備の処理水貯槽水位計の不良について】 多核種除去設備の処理水貯槽水位計に入力信号の不良を示す警報を確認。 調査の結果、当該計器のバッテリーの接触不良と判断。接触不良を解消し、警報を復帰。 なお、系統の運用に影響なし。</p>	GⅢ	7月10日